

・ AALA ニュース 111 号 ウクライナ特集 第 10 弾

内容紹介

引き続きウクライナ危機が中心の情報提供です。

1. FT「EU は団結を保ち続けられるのだろうか」

フィナンシャル・タイムズ、ポッドキャスト放送からの文字起こしです。ラハマン氏が司会を務めるインタビュー番組で、今回はウルリケ・フランケ氏が情報を提供しています。

原題は European solidarity with Ukraine has been impressive but can public support last? となっています。

翻訳すると「ヨーロッパのウクライナ連帯は依然強力だが、果たして民衆はそれを支え続けられるのだろうか？」ということになります。

2. Current Affairs「ウクライナ戦争を終らせる方法 2」

前回の続きです。後半では具体的な提案が行われています。

アナトール・リーヴェンは、イギリスの作家、ジャーナリスト、政策アナリスト。ニュー・アメリカ財団上級研究員、キングス・カレッジ・ロンドンの国際関係論・テロリズム研究担当研究員です。(ウィキによる)

3 . 浅井基文「ロシア・ウクライナ問題を見る視点」

「市民の意見」191 号からの転載です。会員からの紹介により掲載します。PDF ファイルからの起こしのため、体裁の崩れが残っているかも知れませんが、ご容赦願います。

浅井先生からは転載のご承諾頂きましたが、6 月 1 日発行の文章のため、多少、情勢に遅れているかも知れないとのコメントを頂いております。おふくみ置きください。

4. K.Hudson 「平和・非武装が非同盟運動の核心」

The Bullet からの紹介です。もともとはイギリスの左翼紙「モーニングスター」Web 版に掲載されたもののようです。

核兵器禁止条約（TPNW）の成立への道すじが簡潔に描かれています。そして非同盟運動がその推進力だと強調されています。

著者 Kate Hudson は、核軍縮キャンペーン（CND）の事務局長で、反核・反戦キャンペーンの第一人者です。

5. nacla 「新生コロンビア：左翼の夜明け」

Nacla はラテンアメリカを対象とする Web 評論誌です。グスタボ・ペトロの勝利がコロンビアにとって歴史的なものであること。マージナルな人々の決起が勝因だったことを明らかにしています。

筆者 Ociel Alí López は、ベネズエラ中央大学教授で政治学者です。

6. 新外交イニシアティブ「提言」

会員の松井幸博さんの紹介です。文章の性格上、転載は問題ないと判断し、リンク先明示の上転載します。

7. Multipolarista 「AMLO、ジュリアン・アサンジ解放を要求」

会員からの投稿です。AMLO はメキシコ大統領 Andrés Manuel López Obrador の頭文字をとった愛称です。ジュリアン・アサンジはオーストラリア出身のジャーナリストで、スッパ抜きで有名になったウィキリークスの主催者。現在故なく囚われの身となっています。

